

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】令和 3 年 5 月 6 日 (2021.5.6)

【公開番号】特開 2020-9262 (P2020-9262A)

【公開日】令和 2 年 1 月 16 日 (2020.1.16)

【年通号数】公開・登録公報 2020-002

【出願番号】特願 2018-131039 (P2018-131039)

【国際特許分類】

G 0 6 F 13/00 (2006.01)

H 0 4 N 7/14 (2006.01)

H 0 4 N 21/431 (2011.01)

G 0 6 F 3/14 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 13/00 6 5 0 A

H 0 4 N 7/14 1 1 0

H 0 4 N 21/431

G 0 6 F 3/14 3 5 0 A

G 0 6 F 3/14 4 0 0

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 3 月 24 日 (2021.3.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の情報処理装置および第 2 の情報処理装置の間で画像を共有する画像共有方法であって、

前記第 1 の情報処理装置が、

前記第 2 の情報処理装置に共有される共有レイヤーに対して描画が実行されると、描画により生成される第 1 オブジェクトを前記第 2 の情報処理装置に送信し、前記共有レイヤーで規定される画面内の位置に前記第 1 オブジェクトを表示し、

前記第 2 の情報処理装置に共有されない非共有レイヤーに対して描画が実行されると、描画により生成される第 2 オブジェクトを前記第 2 の情報処理装置に送信せず、前記非共有レイヤーで規定される前記画面内の位置に前記第 2 オブジェクトを表示し、

前記非共有レイヤーのサイズおよび前記画面内の位置の一方、または、前記非共有レイヤーのサイズおよび前記画面内の位置の両方を可変に制御する、

ことを特徴とする画像共有方法。

【請求項 2】

前記第 1 の情報処理装置は、前記非共有レイヤーに含まれる前記第 2 オブジェクトを前記共有レイヤーにコピーするコピー指示を受け付けると、前記コピー指示で指定される前記第 2 オブジェクトを前記共有レイヤーにコピーし、前記共有レイヤーにコピーされる前記第 2 オブジェクトを前記第 2 の情報処理装置に送信する、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の画像共有方法。

【請求項 3】

前記第 1 の情報処理装置は、前記第 2 の情報処理装置において前記第 1 の情報処理装置に共有されないレイヤーで規定される範囲を識別させるオブジェクトを、前記画面に表示

する、

ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の画像共有方法。

【請求項 4】

前記第 1 の情報処理装置は、

前記共有レイヤーの表示または非表示を選択する第 1 表示指示を受け付けると、前記第 1 表示指示に基づいて前記第 1 オブジェクトを表示または非表示とし、

前記非共有レイヤーの表示または非表示を選択する第 2 表示指示を受け付けると、前記第 2 表示指示に基づいて前記第 2 オブジェクトを表示または非表示とする、

ことを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の画像共有方法。

【請求項 5】

前記第 1 の情報処理装置は、前記共有レイヤーと前記非共有レイヤーとの前記画面内における重複部分に対する描画を前記共有レイヤーおよび前記非共有レイヤーのどちらで受け付けるかを選択する選択指示を受け付けると、前記選択指示に基づいて前記共有レイヤーおよび前記非共有レイヤーの一方で前記重複部分に対する描画を受け付ける、

ことを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の画像共有方法。

【請求項 6】

情報処理装置であって、

他の情報処理装置に共有される共有レイヤーに対して描画が実行されると、描画により生成される第 1 オブジェクトを前記他の情報処理装置に送信し、前記共有レイヤーで規定される画面内の位置に前記第 1 オブジェクトを表示し、前記他の情報処理装置に共有されない非共有レイヤーに対して描画が実行されると、描画により生成される第 2 オブジェクトを前記他の情報処理装置に送信せず、前記非共有レイヤーで規定される前記画面内の位置に前記第 2 オブジェクトを表示する表示制御部と、

前記非共有レイヤーのサイズおよび前記画面内の位置の一方、または、前記非共有レイヤーのサイズおよび前記画面内の位置の両方を可変に制御する配置制御部と、

を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 7】

第 1 の情報処理装置および第 2 の情報処理装置の間で画像を共有する情報処理システムであって、

前記第 1 の情報処理装置が、

前記第 2 の情報処理装置に共有される共有レイヤーに対して描画が実行されると、描画により生成される第 1 オブジェクトを前記第 2 の情報処理装置に送信し、前記共有レイヤーで規定される画面内の位置に前記第 1 オブジェクトを表示し、

前記第 2 の情報処理装置に共有されない非共有レイヤーに対して描画が実行されると、描画により生成される第 2 オブジェクトを前記第 2 の情報処理装置に送信せず、前記非共有レイヤーで規定される前記画面内の位置に前記第 2 オブジェクトを表示し、

前記非共有レイヤーのサイズおよび前記画面内の位置の一方、または、前記非共有レイヤーのサイズおよび前記画面内の位置の両方を可変に制御する、

ことを特徴とする情報処理システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0104

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0104】

情報処理装置 10Di では、共有レイヤー L1i と非共有レイヤー L2i との画面 SCi 内における重複部分に対する描画を共有レイヤー L1i および非共有レイヤー L2i のどちらで受け付けるかを選択することができる。例えば、情報処理装置 10Di では、ユーザーによる操作部 110 の操作によって、共有レイヤー L1i と非共有レイヤー L2i との画面 SCi 内における重複部分に対する描画を共有レイヤー L1i で受け付けさせる

ことができる。この場合、共有レイヤー $L1i$ と非共有レイヤー $L2i$ との画面 SCi 内における重複部分に、共有レイヤー $L1i$ に対する描画を実行できる。